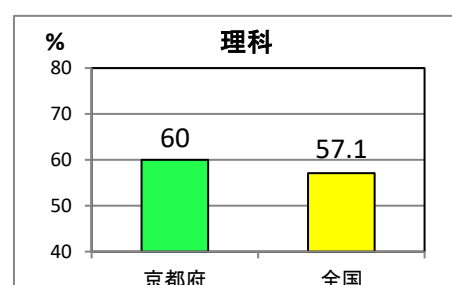
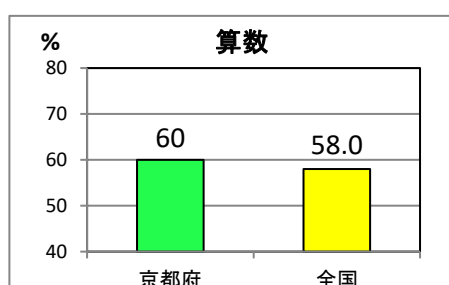
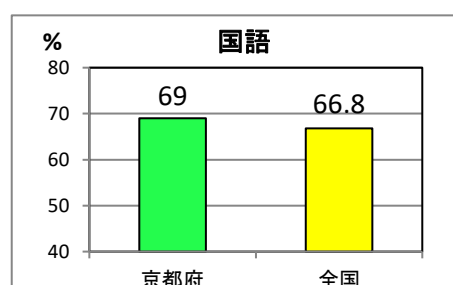


Ⅱ 教科に関する調査結果の概要

1 小学校の概要

表1 小学校 平均正答率(京都府(京都市除く)・全国とも公立学校)

教科等	国 語		算 数		理科	
	京都府(市除く)	全国	京都府(市除く)	全国	京都府(市除く)	全国
令和7年度	69(67)	66.8	60(59)	58.0	60(58)	57.1
令和6年度	70	67.7	67	63.4		
令和5年度	70	67.2	65	62.5		
令和4年度	68	65.6	65	63.2	64	63.3
令和3年度	68	64.7	73	70.2		
31年度	66	63.8	68	66.6		
教科等	国 語		算 数		理 科	
	A「知識」		B「活用」			
	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国
30年度	73	70.7	56	54.7	65	63.5
29年度	76	74.8	59	57.5	80	78.6
28年度	74.2	72.9	59.4	57.8	79.9	77.6
27年度	72.1	70.0	67.5	65.4	77.6	75.2



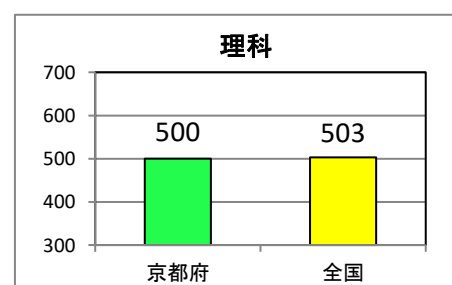
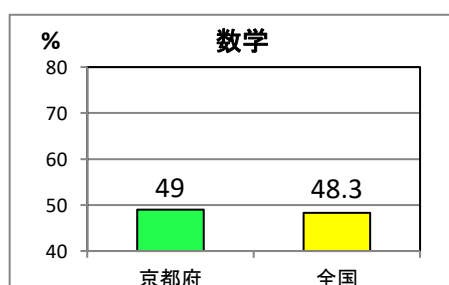
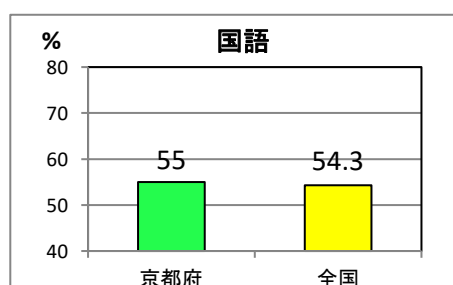
○ 小学校の国語、算数、理科について、全国平均以上です。

2 中学校の概要

表2 中学校 平均正答率(京都府(京都市除く)・全国とも公立学校)

教科等	国 語				数学				理科		英語	
	京都府(市除く)		全国		京都府(市除く)		全国		京都府(市除く)	全国	京都府(市除く)	全国
令和7年度	55(54)		54.3		49(48)		48.3		500 [*] (491 [*])	503 [*]		
令和6年度	59		58.1		53		52.5					
令和5年度	71		69.8		52		51.0					
令和4年度	69		69.0		52		51.4		49	49.3		
令和3年度	65		64.6		57		57.2					
31年度	73		72.8		61		59.8					
教科等	国 語				数学				理 科			
	A「知識」		B「活用」		A「知識」		B「活用」		理 科		英語	
	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国
30年度	77	76.1	62	61.2	67	66.1	48	46.9	66	66.1		
29年度	78	77.4	73	72.2	66	64.6	49	48.1				
28年度	75.8	75.6	67.2	66.5	63.3	62.2	45.0	44.1				
27年度	76.7	75.8	66.5	65.8	65.3	64.4	42.5	41.6				

* 令和7年度の中学校理科はCBTでの実施となり、結果はIRTスコア・バンドで示されている。



○ 中学校の国語、数学、理科について、全国平均と同等です。

注1: 都道府県別の平均正答率については、整数値のみ公表することとされている。

注2: 調査は平成19年度から開始されたが、10年分のみ表示している。

注3: 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等を考慮し、実施されていない。

3 正答数の分布状況(京都市含む)

(1) 小学校

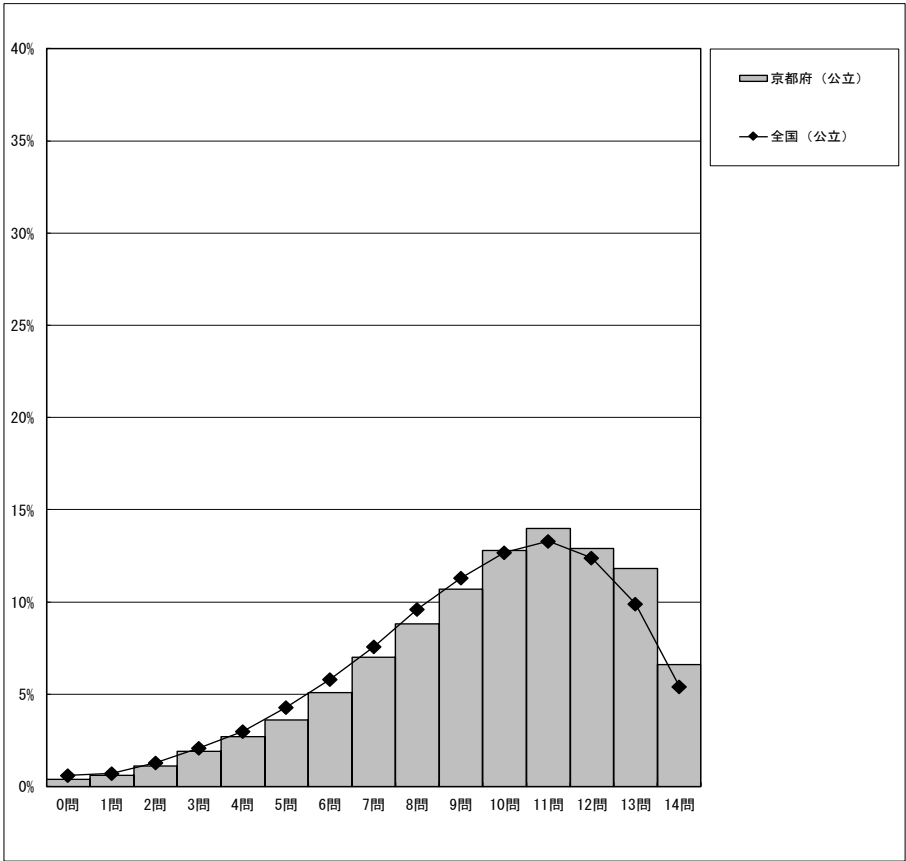
ア 国語

注:都道府県別の平均正答率については、整数値のみ公表することとされている。

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
京都府(公立)	17,844	9.7 / 14	69	10.0	3.0
全国(公立)	936,137	9.4 / 14	66.8	10.0	3.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)

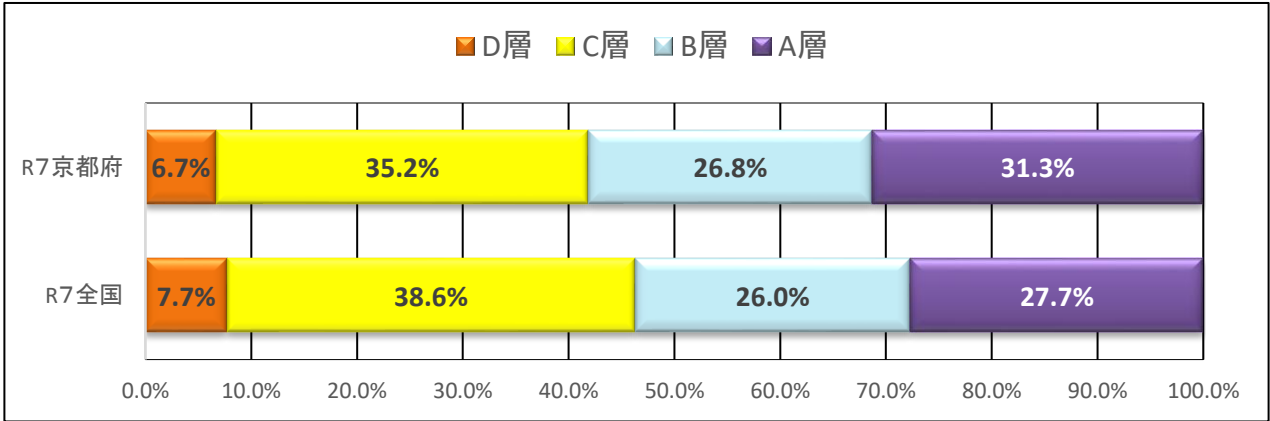


正答数集計値			
正答数	児童数	割合(%)	
	京都府(公立)	京都府(公立)	全国(公立)
14問	1,183	6.6	5.4
13問	2,114	11.8	9.9
△ 12問	2,299	12.9	12.4
◇ 11問	2,506	14.0	13.3
◇ 10問	2,292	12.8	12.7
9問	1,902	10.7	11.3
▽ 8問	1,574	8.8	9.6
7問	1,244	7.0	7.6
6問	913	5.1	5.8
5問	635	3.6	4.3
4問	483	2.7	3.0
3問	331	1.9	2.1
2問	199	1.1	1.3
1問	99	0.6	0.7
0問	70	0.4	0.6

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	京都府(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	8.0問	7.0問

◇【小学校国語】A～D層の分布状況



○上の正答数分布状況グラフは、児童をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の児童をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の児童をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の小学校国語の出題数は14問あり、全国平均正答数が9.4問です。
したがって、0～4問がD層、5～9問がC層、10～11問がB層、12～14問がA層となります。

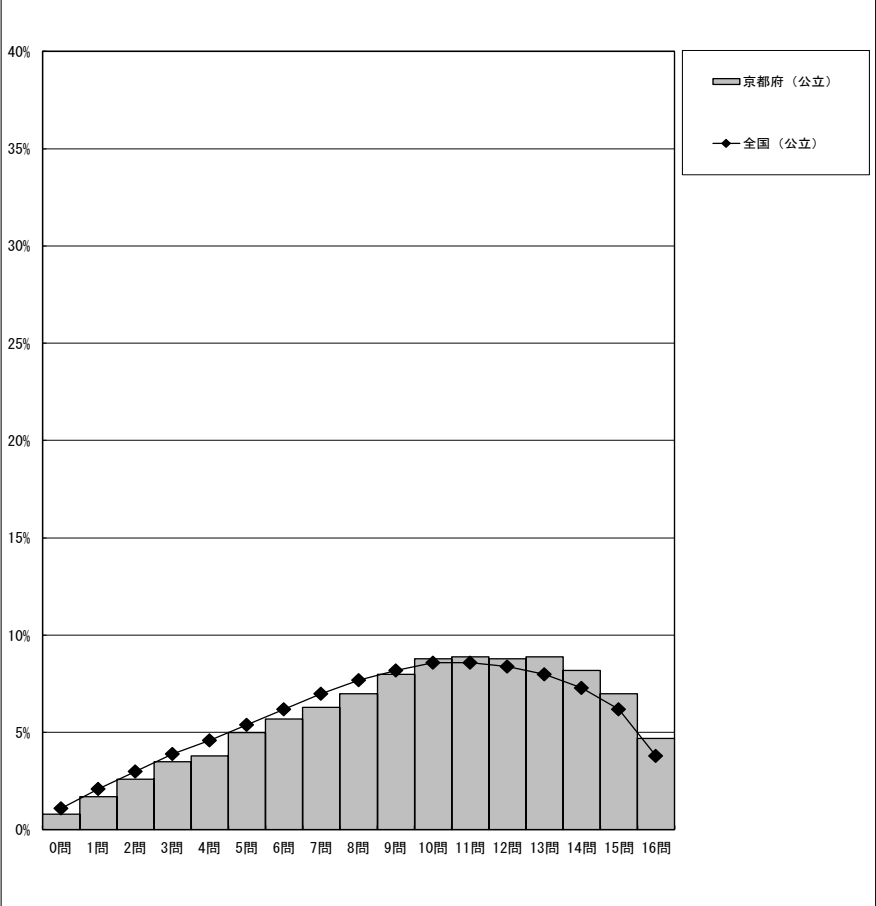
イ 算数

注：都道府県別の平均正答率については、整数値のみ公表することとされている。

・以下の集計値／グラフは、４月１７日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府（公立）	17,859	9.7 / 16	60	10.0	4.0
全国（公立）	936,399	9.3 / 16	58.0	10.0	4.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）

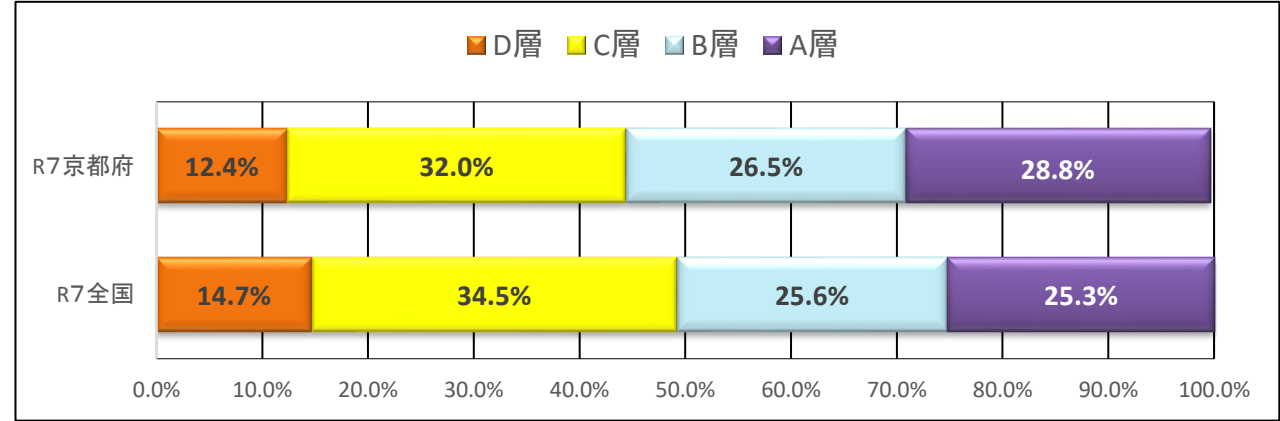


正答数集計値			
正答数	児童数	割合 (%)	
	京都府 (公立)	京都府 (公立)	全国 (公立)
16問	844	4.7	3.8
15問	1,255	7.0	6.2
14問	1,460	8.2	7.3
△ 13問	1,595	8.9	8.0
12問	1,574	8.8	8.4
11問	1,589	8.9	8.6
◇ 10問	1,569	8.8	8.6
9問	1,431	8.0	8.2
8問	1,255	7.0	7.7
▽ 7問	1,133	6.3	7.0
6問	1,013	5.7	6.2
5問	893	5.0	5.4
4問	685	3.8	4.6
3問	630	3.5	3.9
2問	473	2.6	3.0
1問	312	1.7	2.1
0問	148	0.8	1.1

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	京都府 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	13.0問	13.0問
◇ 第2四分位	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	7.0問	6.0問

◇【小学校算数】A～D層の分布状況



○上の正答数分布状況グラフは、児童をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の児童をA層（上位）、B層（中上位）、平均正答数未満の児童をC層（中下位）、D層（下位）にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の小学校算数の出題数は16問あり、全国平均正答数が9.3問です。
したがって、0～4問がD層、5～9問がC層、10～12がB層、13～16問がA層となります。

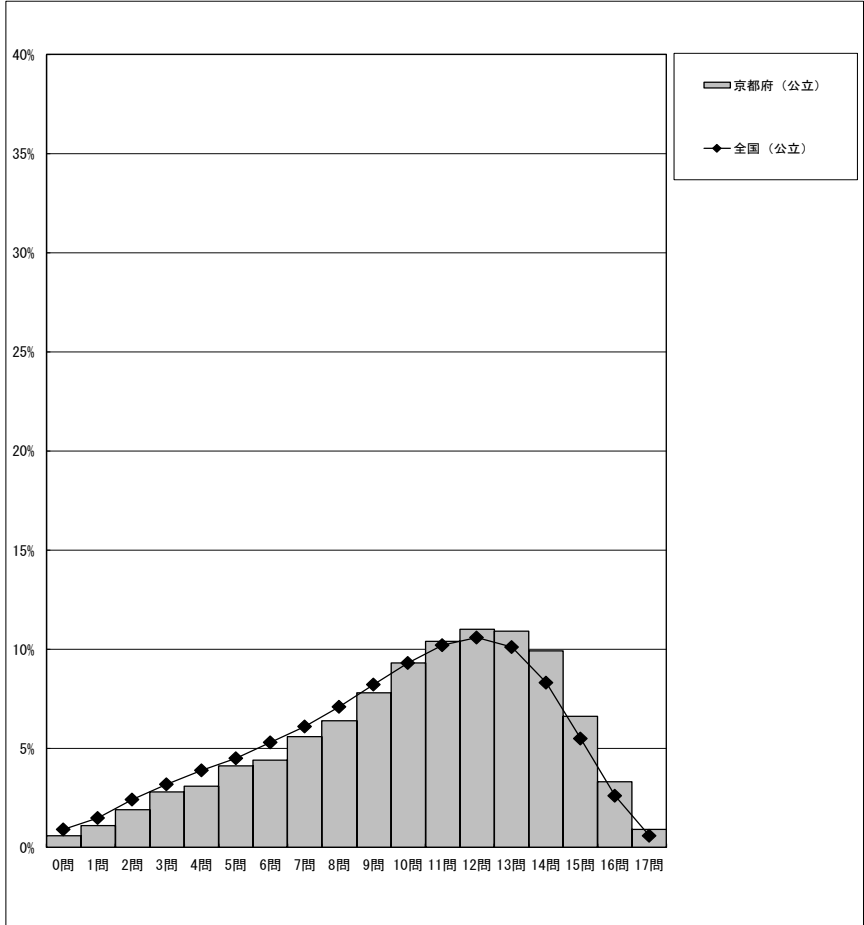
ウ 理科

注:都道府県別の平均正答率については、整数値のみ公表することとされている。

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
京都府（公立）	17,885	10.2 / 17	60	11.0	3.7
全国（公立）	936,576	9.7 / 17	57.1	10.0	3.8

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）

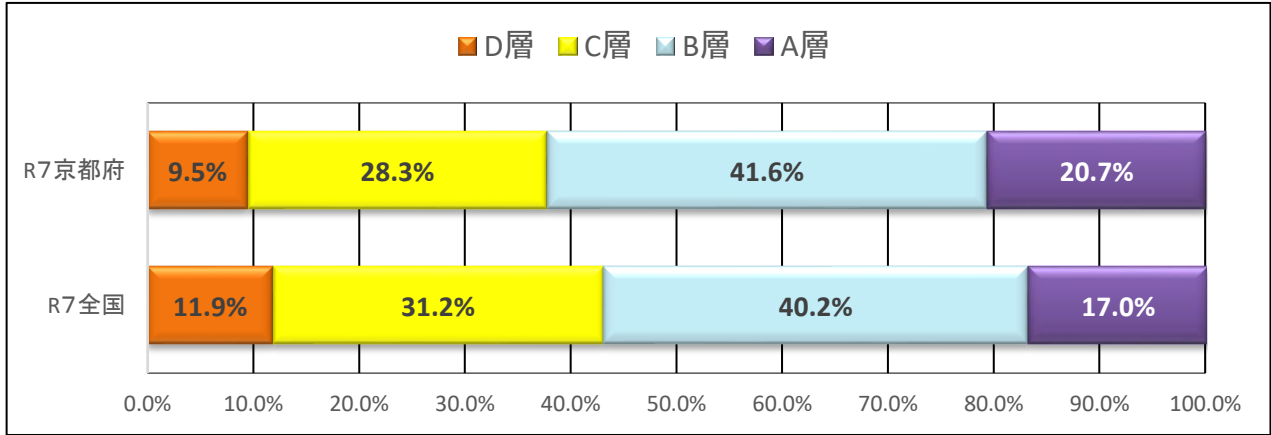


正答数集計値			
正答数	児童数	割合 (%)	
	京都府（公立）	京都府（公立）	全国（公立）
17問	157	0.9	0.6
16問	585	3.3	2.6
15問	1,189	6.6	5.5
14問	1,767	9.9	8.3
△ 13問	1,946	10.9	10.1
12問	1,970	11.0	10.6
◇ 11問	1,857	10.4	10.2
10問	1,671	9.3	9.3
9問	1,400	7.8	8.2
▽ 8問	1,145	6.4	7.1
7問	994	5.6	6.1
6問	782	4.4	5.3
5問	725	4.1	4.5
4問	563	3.1	3.9
3問	498	2.8	3.2
2問	334	1.9	2.4
1問	202	1.1	1.5
0問	100	0.6	0.9

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	京都府（公立）	全国（公立）
△ 第3四分位	13.0問	13.0問
◇ 第2四分位	11.0問	10.0問
▽ 第1四分位	8.0問	7.0問

◇【小学校理科】A～D層の分布状況



○上の正答数分布状況グラフは、生徒をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の生徒をA層（上位）、B層（中上位）、平均正答数未満の生徒をC層（中下位）、D層（下位）にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の小学校理科の出題数は17問あり、全国平均正答数が9.7問です。
したがって、0～4問がD層、5～9がC層、10～13問がB層、14～17問がA層となります。

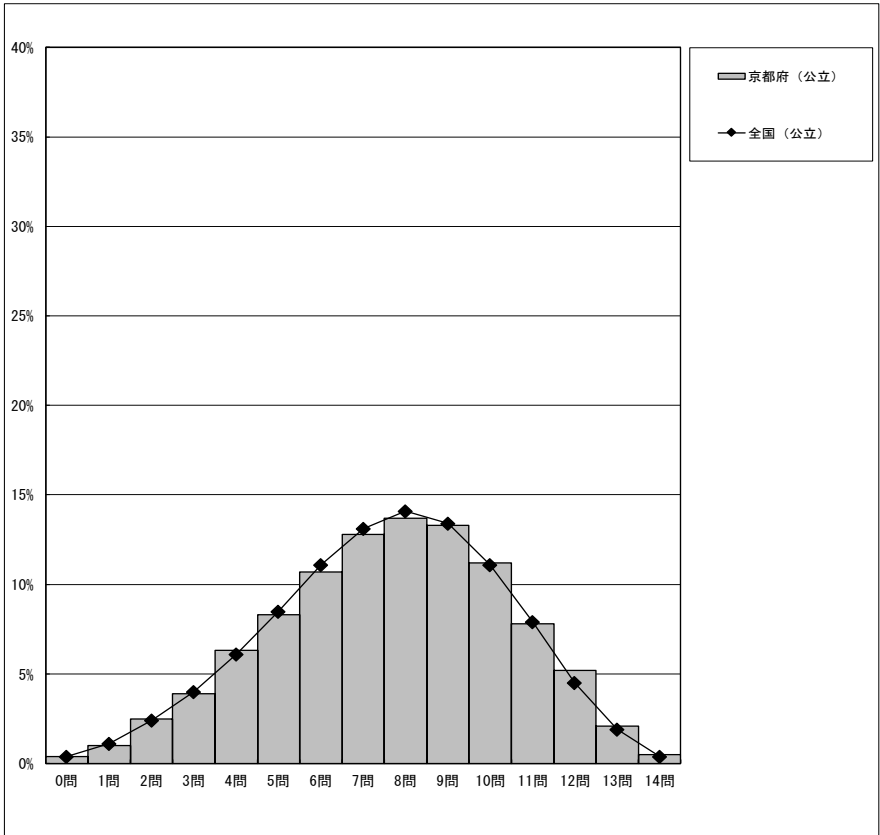
(2) 中学校
ア 国語

注：都道府県別の平均正答率については、整数値のみ公表することとされている。

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
京都府（公立）	16,523	7.6 / 14	55	8.0	2.8
全国（公立）	870,560	7.6 / 14	54.3	8.0	2.7

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）

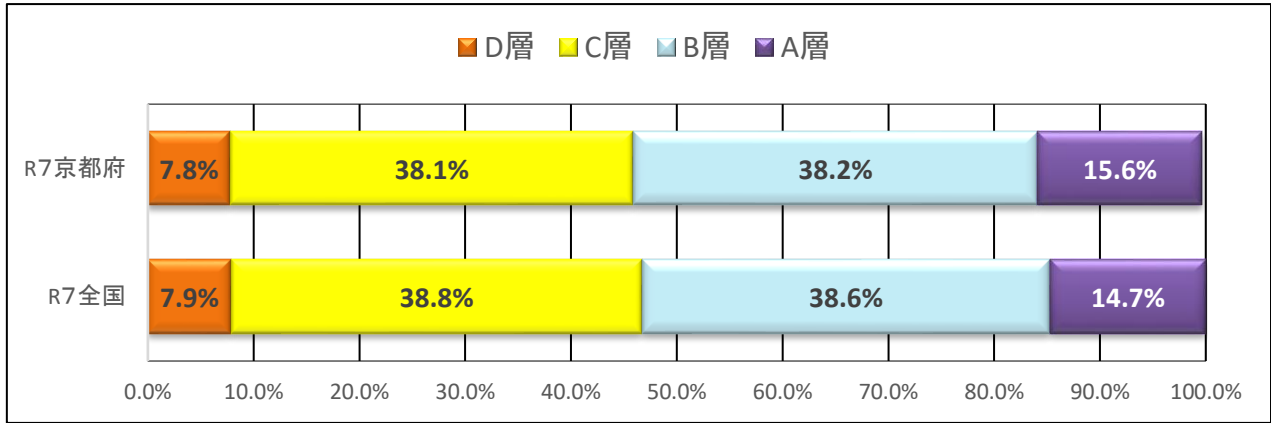


正答数集計値			
正答数	生徒数	割合 (%)	
	京都府（公立）	京都府（公立）	全国（公立）
14問	84	0.5	0.4
13問	352	2.1	1.9
12問	866	5.2	4.5
11問	1,296	7.8	7.9
△ 10問	1,855	11.2	11.1
9問	2,205	13.3	13.4
◇ 8問	2,270	13.7	14.1
7問	2,117	12.8	13.1
▽ 6問	1,762	10.7	11.1
5問	1,376	8.3	8.5
4問	1,040	6.3	6.1
3問	645	3.9	4.0
2問	419	2.5	2.4
1問	173	1.0	1.1
0問	63	0.4	0.4

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	京都府（公立）	全国（公立）
△ 第3四分位	10.0問	10.0問
◇ 第2四分位	8.0問	8.0問
▽ 第1四分位	6.0問	6.0問

◇【中学校国語】A～D層の分布状況



○上の正答数分布状況グラフは、生徒をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の生徒をA層（上位）、B層（中上位）、平均正答数未満の生徒をC層（中下位）、D層（下位）にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の中学校国語の出題数は14問あり、全国の平均正答数が7.6問です。
したがって、0～3問がD層、4～7問がC層、8～10問がB層、11～14問がA層となります。

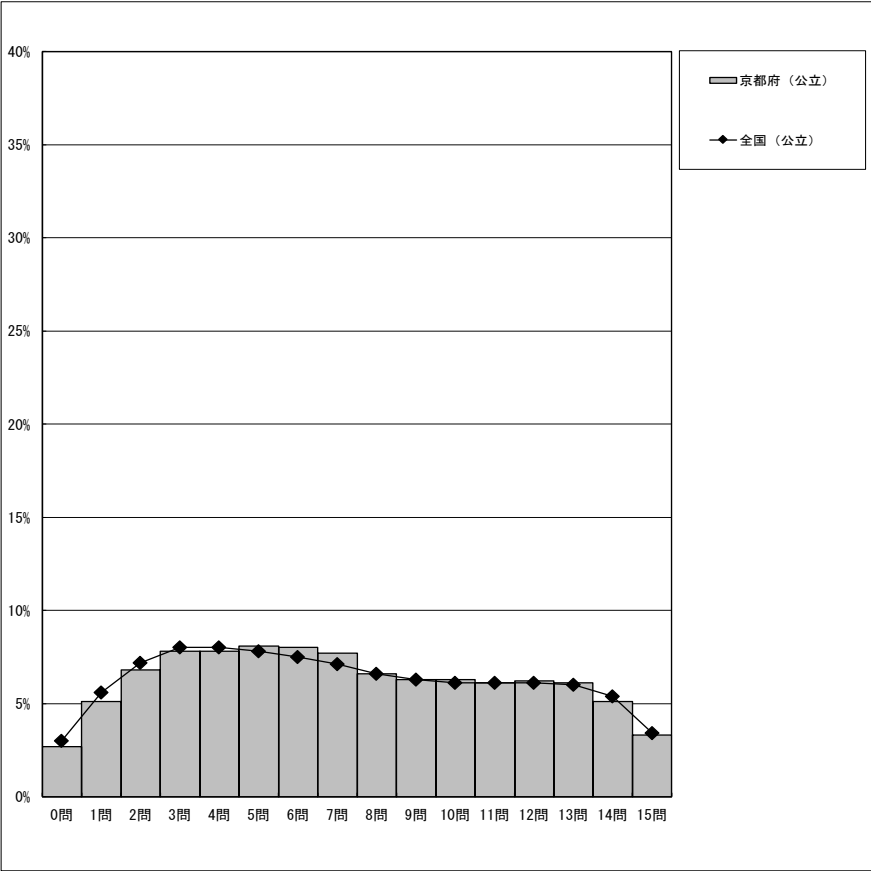
イ 数学

注：都道府県別の平均正答率については、整数値のみ公表することとされている。

・以下の集計値／グラフは、４月１７日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
京都府（公立）	16,557	7.3 / 15	49	7.0	4.2
全国（公立）	871,097	7.2 / 15	48.3	7.0	4.2

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）

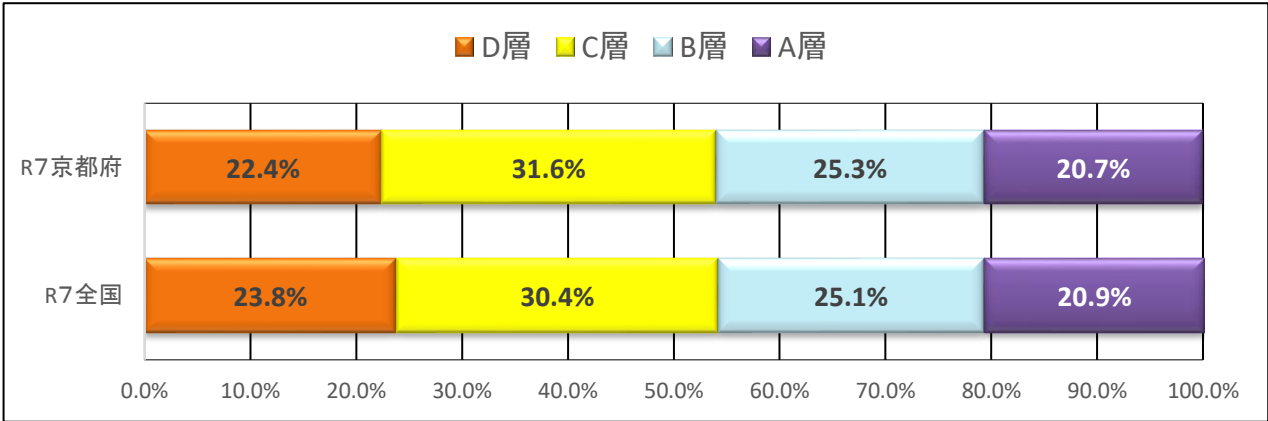


正答数集計値			
正答数	生徒数	割合(%)	
	京都府 (公立)	京都府 (公立)	全国 (公立)
15問	540	3.3	3.4
14問	845	5.1	5.4
13問	1,011	6.1	6.0
12問	1,034	6.2	6.1
△ 11問	1,016	6.1	6.1
10問	1,049	6.3	6.1
9問	1,049	6.3	6.3
8問	1,091	6.6	6.6
◇ 7問	1,269	7.7	7.1
6問	1,326	8.0	7.5
5問	1,336	8.1	7.8
▽ 4問	1,285	7.8	8.0
3問	1,291	7.8	8.0
2問	1,126	6.8	7.2
1問	847	5.1	5.6
0問	442	2.7	3.0

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	京都府 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	11.0問	11.0問
◇ 第2四分位	7.0問	7.0問
▽ 第1四分位	4.0問	4.0問

◇【中学校数学】A～D層の分布状況



○上の正答数分布状況グラフは、生徒をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の生徒をA層（上位）、B層（中上位）、平均正答数未満の生徒をC層（中下位）、D層（下位）にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の中学校数学の出題数は15問あり、全国の平均正答数が7.2問です。
したがって、0～3問がD層、4～7問がC層、8～11問がB層、12～15問がA層となります。

ウ 理科
今年度の中学校理科はCBTでの実施となり、調査結果はIRTスコア・バンドで示されています。

○IRT(Item Response Theory: 項目反応理論)
児童生徒の正答・誤答が、問題の特性(難易度、測定精度)によるのか、児童生徒の学力によるのかを 区別して分析し、児童生徒の学カスコアを推定する統計理論。

- 問題構成について
- ・生徒1人あたり、公開問題10問と非公開問題16問を出題しています。
 - ・公開問題には全日程に共通する問題と実施日別の問題があります。
 - ・非公開問題は幅広い内容・難易度等から出題され、生徒ごとに異なる問題を解いています。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/1417152_00015.htm)

【1】 平均正答数集計値

	生徒数	平均正答数	標準偏差
京都府（公立）	16,428	2.8 / 6	1.4
全国（公立）	864,634	2.9 / 6	1.4

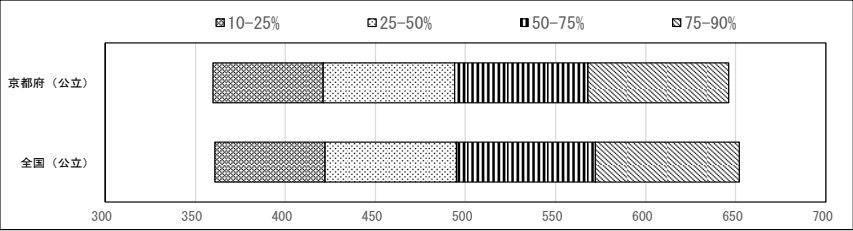
【2】～【9】 平均正答数集計値

	【2】、【9】	【5】、【8】	【3】、【6】	【4】、【7】
京都府（公立）	1.9 / 4	1.9 / 4	2.3 / 4	2.3 / 4
全国（公立）	2.0 / 4	1.9 / 4	2.3 / 4	2.3 / 4

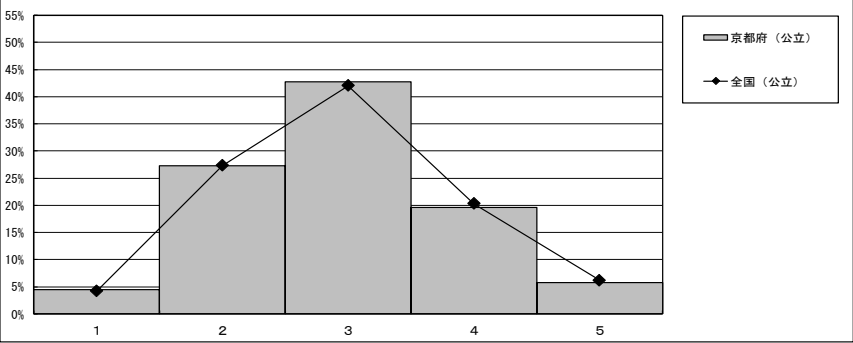
IRTスコア集計値

	平均IRTスコア	標準偏差	パーセンタイル値				
			10%	25%	50%	75%	90%
京都府（公立）	500	123.2	360	421	494	568	646
全国（公立）	503	124.0	361	422	495	572	652

IRTスコア分布グラフ（パーセンタイル値：10%、25%、50%、75%、90%）



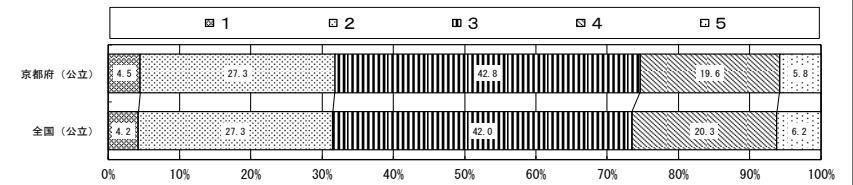
IRTバンド分布グラフ（横軸：IRTバンド 縦軸：割合）



IRTバンド集計値

IRTバンド	生徒数	割合（%）	
	京都府（公立）	京都府（公立）	全国（公立）
5	953	5.8	6.2
4	3,221	19.6	20.3
3	7,030	42.8	42.0
2	4,477	27.3	27.3
1	747	4.5	4.2

IRTバンド分布比較



○IRTスコア

IRT に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すもの

○IRTスコア・バンド

IRTスコアを1～5の5段階に区切ったもの（3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなります。）